

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	土地改良費	266

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	土地改良
事業目的	土地改良施設（用水路、ため池等）を適切に維持管理することで、農業用水の安定供給を図るとともに地域排水機能を維持する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設（用水路、ため池等）を適切に維持管理する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○土地改良（排水）事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気料金（ポンプ場、転倒堰） 735,389円 ほ場整備確定測量成果データ化業務委託 1,067,000円 ため池防災支援システム利用料 22,000円 濃尾用水地区用排水対策協議会負担金 2,000円 尾張西部排水対策推進協議会負担金 10,000円 <p>○土地改良（排水）施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 揚水機場保守点検委託（一本杉ポンプ場外4箇所） 550,000円 土地改良施設維持管理委託 14件 3,040,400円 ため池草刈等業務委託（亀割大池外） 30件 5,190,586円 土地改良施設維持工事（地元要望等） 57件 10,945,770円 木津用水排水負担金 8,909,000円 木津用水路汚水処理施設維持管理費負担金 7,038,000円 入鹿用水土地改良区施設維持管理負担金 4,964,007円
事業の成果・効果	土地改良施設（用水路・ため池等）の点検業務、土木要望に基づく補修工事、除草、浚渫の実施など、適正に維持管理を行った。

II : 個別事業内訳

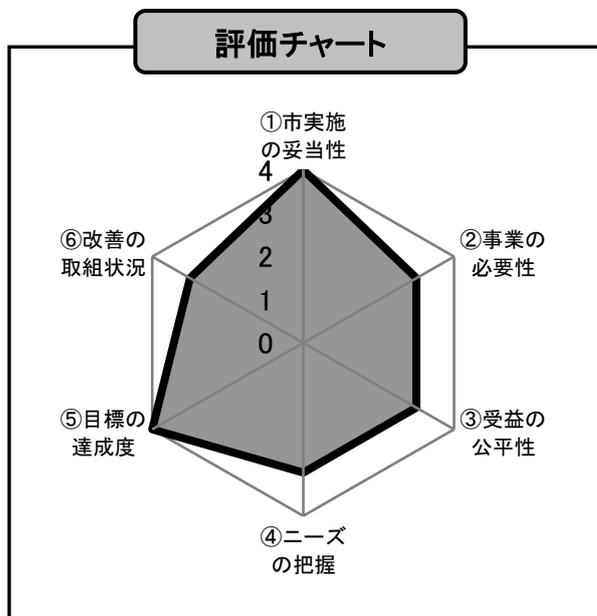
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
土地改良（排水）事務	1,856	145	1,711	92%	3	3	3
土地改良（排水）施設管理	41,165	0	41,165	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	43,021	145	42,876	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		41,853	43,021	43,849
財源内訳	国県支出金	108	100	114
	地方債	0	0	0
	その他	53	45	40
	一般財源	41,692	42,876	43,695
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	用水路、ため池等の管理は、犬山市法定外公共用物の管理に関する条例第2条の規定により、市が行う。
②事業の必要性	3	農業用排水路やため池は、地域の雨水排水や洪水調整池としての機能も有しており、農業従事者のみならず、市民生活の安心・安全にも寄与する事業であり優先度は高いと考える。
③受益の公平性	3	農業用排水路やため池は、地域の雨水排水や洪水調整池としての機能も有しており、事業効果は農業従事者のみならず広範囲に及ぶ。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	危険箇所や事業効果が高いと思われる土木要望を優先的に実施した。水路関係の令和3年度要望実施率は約54%で、当初目標値40%を上回ることができた。
⑥改善の取組状況	3	故障すると取水困難や水害の要因となる堰・ゲートについては、農閑期に点検を行い、計画的に補修を行う。用水路の補修については、地元要望に基づき緊急性など優先度を考慮しながら実施する。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	堰・ゲート・ため池の補修計画を策定するために施設点検を行った。
令和4年度に見直しを実施している事項	堰・ゲート・ため池の補修計画を策定する。
今後見直しを検討する事項	計画に基づき堰・ゲート・ため池の補修を実施していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
各施設の老朽化	修繕に時間を要する堰・ゲート・ため池については、農閑期に損傷具合や動作確認の点検を行い、次年度取水時期に備える。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	2	1	林業振興費	268

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	林道管理
事業目的	林道管理者として、林道を常時良好な状態に保つように維持修繕し、通行に支障を及ぼさないよう管理する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林道の通行に支障が無いよう維持修繕等を行う。 ○林道管理 <ul style="list-style-type: none"> ・林道維持修繕工事 1件 53,900円
事業の成果・効果	路面補修を行うなど、通行に支障が無いよう維持管理することができた。

II : 個別事業内訳

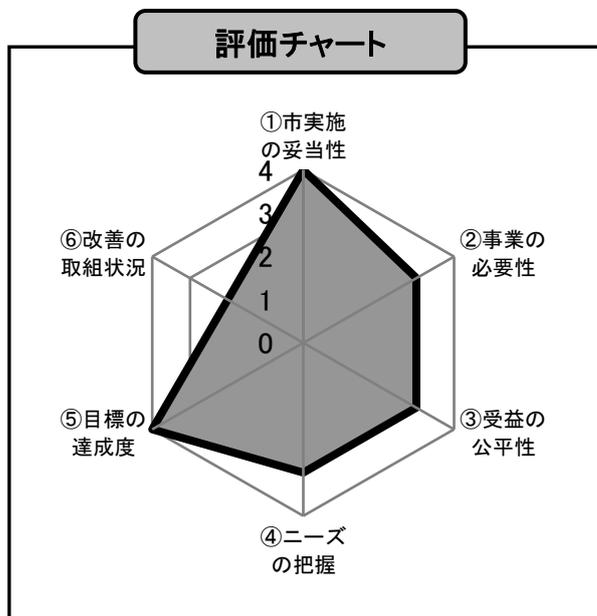
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
林道管理	54	0	54	100%	2	2	2
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	54	0	54	100%	2	2	2

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		91	54	133
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	91	54	133
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	林道管理規程第5条に定める管理者である市が実施する。
②事業の必要性	3	林道の維持管理を行っていく上で事業の継続は必須であるが、非常時には、要望等の事業は縮小も止むを得ない事業である。
③受益の公平性	3	林道の利用者は少ないが、公道であるため公共性は高い。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	通行に支障が無いような維持管理はできている。
⑥改善の取組状況	2	現在の利用状況を鑑み、必要最小限の維持管理としており、規模の大きな補修工事については、災害復旧事業を有効活用していく。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	特になし
令和4年度に見直しを実施している事項	特になし
今後見直しを検討する事項	特になし

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
利用者が少ないため、補修箇所の発見が遅れる。	定期的なパトロールや地元役員と連携し、早期発見に努める。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	1	1	土木総務費	282

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I：事業概要

施策事業名	土木管理事務
事業目的	道路・水路・公園等の管理者として、施設を良好な状態に保ち、一般利用に支障を及ぼさないよう管理する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路・水路・公園等の管理者として、施設を良好な状態に保ち、一般利用に支障を及ぼさないよう管理する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○土木管理事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬費 土木常設員44名分の報酬 1,364,000円 地元の土木要望（土木事業及び治水事業）等、市と市民の連絡調整役 光熱水費 電気料金（街路灯、道路照明灯、観光街路灯等） 17,366,361円 役務費 火災保険料（道路管理賠償責任保険料） 963,880円 委託料 測量登記委託料（道路内民地処理、道路水路境界確定） 5,940,937円 道路台帳更新委託料（道路台帳デジタルデータ等年度更新） 7,381,000円 道路法第28条に基づく道路台帳整備 公有財産購入費（道路、水路用地等） 270,642円 ライン大橋管理組合負担金 2,750,000円 犬山市、各務原市で管理に要する経費を1/2ずつ負担 <p>○公開型GISシステム運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開型GISシステム道路台帳情報等更新委託料 968,000円 道路台帳データ更新、検索図更新 公開型GISシステムサービス使用料 555,000円 ASP使用料（サーバー保守・使用料）
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 道路、水路、公園等の占用・承認工事等の各種許認可申請の処理、道路台帳の更新、官民境界確定、道路内民地処理等を適正に実施している。 ライン大橋管理組合としてライン大橋及び管理橋の日常点検等を行い適切に管理ができています。 昨年度末に運用を開始した犬山市地図情報ポータルサイト「ワンマップ」により、道路台帳情報を公開型GISによってWEB公開運用している。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

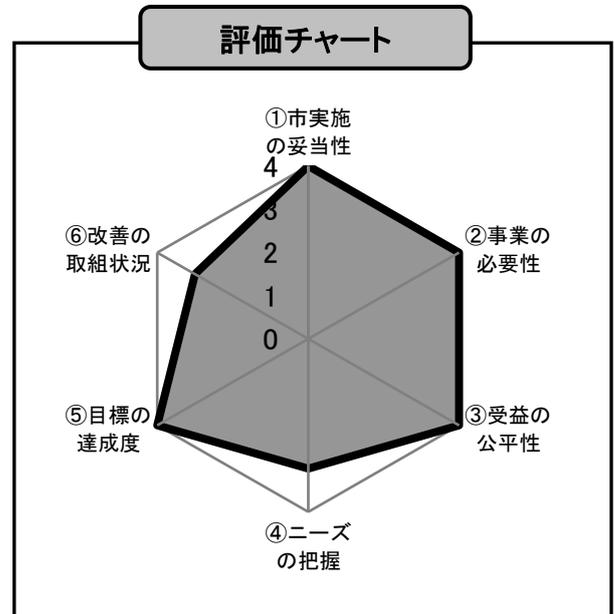
(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
土木管理事務	37,918	36,658	1,260	3%	3	3	4
公開型GISシステム運用	1,518	0	1,518	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	39,436	36,658	2,778	7%	3	3	4

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		39,323	39,436	60,900
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	35,781	36,658	35,200
	一般財源	3,542	2,778	25,700
一般財源の割合		9%	7%	42%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	市道の管理については、道路法第16条により市が実施することとなる。
②事業の必要性	4	道路等の維持管理には用地の適正管理が必要不可欠である。
③受益の公平性	4	道路行政財産である道路を適正に管理するための測量・境界確定は市民の財産を保全する役割を有している。
④ニーズの把握	3	道路・道路附属設備の改善・修繕について地元(市民)からの要望を把握している。
⑤目標の達成度	4	道路、水路、公園等の占用・承認工事等の各種許認可申請の処理、道路台帳の更新、官民境界確定、道路内民地処理等の管理事務を年間通じて適正に行っている。
⑥改善の取組状況	3	来庁しなくてもよい仕組みの一つとして公開型GISを用いて道路台帳情報をWEB上で公開し、情報の充実を図っている。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	犬山駅東のからくり時計前の広場を市民や事業者が気軽に活用できるように設管条例を制定し、道路区域からも除外した上で、令和4年4月より賑わいを創出する空間として運用を開始した。
令和4年度に見直しを実施している事項	公開型GISに道路側溝や用排水路の情報を追加し更なるユーザーの利便性を図る。
今後見直しを検討する事項	今後も土木管理事務全般事業について、必要性、改善点、コスト面について検討を行なう。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
窓口での許認可事務処理では、国・県・他市町の先進事例でも電子化への対応に関して、コストに比べ事務の簡素化等に繋がらない状況となっている。	最新動向を注視しながら、費用対効果も踏まえて市民等の利便性向上に向け研究していく。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	287

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	道路維持修繕																																
事業目的	ライフラインである道路を安全で快適に利用できるよう適正に維持管理する。																																
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元要望に基づき、道路施設の新設・改修・維持修繕等の工事を行い、施設の適正管理に努める。 ・道路面の穴ぼこ、側溝のふた割れ等危険な箇所は、速やかに修繕を行い、事故防止に努める。 ・舗装の劣化が激しく広範囲におよぶ路線については、全面改修を計画的に実施する。 ・地元要望に基づき街路灯の新設、維持修繕を行うことで、安心・安全なまちづくりに寄与する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○道路補修</p> <table border="0"> <tr> <td>・道路維持工事</td> <td>189件</td> <td>41,427,750円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装修繕工事</td> <td>47件</td> <td>35,592,700円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・道路改修工事</td> <td>2件</td> <td>8,041,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装改修工事（計画的舗装改修）</td> <td>5件</td> <td>56,901,900円</td> <td></td> </tr> </table> <p>市道犬山公園小牧線、市道赤坂堂前線 市道犬山46号線、市道楽田東45号線、市道塔野地36号線</p> <p>・原材料費（常温合材、碎石、土舗装材等） 2,471,604円</p> <p>○道路交通安全施設修繕</p> <table border="0"> <tr> <td>・街路灯設置工事</td> <td>6件</td> <td>2,138,400円</td> <td>（計60基新設）</td> </tr> <tr> <td>・道路安全施設修繕工事</td> <td>37件</td> <td>8,000,300円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・街路灯維持工事</td> <td>45件</td> <td>4,753,408円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・LED道路照明灯借上料（1年分）</td> <td></td> <td>1,775,520円</td> <td></td> </tr> </table> <p>リース期間（平成30年12月1日～令和10年11月30日）</p>	・道路維持工事	189件	41,427,750円		・舗装修繕工事	47件	35,592,700円		・道路改修工事	2件	8,041,000円		・舗装改修工事（計画的舗装改修）	5件	56,901,900円		・街路灯設置工事	6件	2,138,400円	（計60基新設）	・道路安全施設修繕工事	37件	8,000,300円		・街路灯維持工事	45件	4,753,408円		・LED道路照明灯借上料（1年分）		1,775,520円	
・道路維持工事	189件	41,427,750円																															
・舗装修繕工事	47件	35,592,700円																															
・道路改修工事	2件	8,041,000円																															
・舗装改修工事（計画的舗装改修）	5件	56,901,900円																															
・街路灯設置工事	6件	2,138,400円	（計60基新設）																														
・道路安全施設修繕工事	37件	8,000,300円																															
・街路灯維持工事	45件	4,753,408円																															
・LED道路照明灯借上料（1年分）		1,775,520円																															
事業の成果・効果	地元要望や改修計画に基づく、舗装・側溝・防護柵など道路施設の維持補修により、ライフラインである道路を安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。																																

II : 個別事業内訳

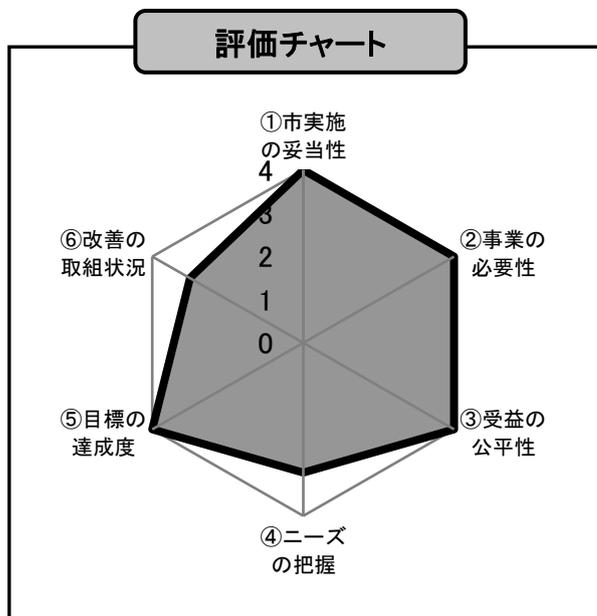
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
道路補修	144,749	7,733	137,016	95%	3	3	3
道路交通安全施設修繕	16,668	0	16,668	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	161,417	7,733	153,684	95%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		183,837	161,417	194,912
財源内訳	国県支出金	0	0	8,750
	地方債	61,300	0	7,800
	その他	8,230	7,733	9,607
	一般財源	114,307	153,684	168,755
一般財源の割合		62%	95%	87%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	道路施設を適正に管理することは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の道路施設を対象としており、不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書により、利用者の要望(ニーズ)を把握している。
⑤目標の達成度	4	道路関係の令和3年度要望実施率は約63%で、当初目標値60%を上回ることができた。
⑥改善の取組状況	3	限られた財源内で、適切な維持管理を行うため、事業の緊急性・必要性などに、地元要望の優先順位を考慮しながら実施している。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> 一般市道の舗装改修計画(令和2年度～11年度)の見直し 幹線道路の舗装改修計画(令和3年度～7年度)の見直し 道路側溝改修計画(令和4年度～8年度)を策定
令和4年度に見直しを実施している事項	舗装の劣化進行状況や他事業(水道・下水道等)との調整などによる、既存の改修計画の見直しを行う。
今後見直しを検討する事項	道路施設全般において、改修計画の策定を検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
道路施設の老朽化対策	道路施設の老朽化が進み、今後大規模な改修工事が想定されるため、改修計画策定の基礎となる施設点検、現状把握の実施を検討する。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	284

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	道路施設等管理
事業目的	道路を安全で快適に利用できるよう清掃及び街路樹剪定や除草等による道路施設の維持管理を行う。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールの実施や簡易な補修、路肩の除草、幹線道路の路面清掃、道路植栽帯の街路樹剪定、除草等を行い、道路を安全に通行利用できるよう適正に施設管理を行う。 <p>●主な事業内容</p> <p>○道路施設等管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（凍結防止剤、保安用品一式等） 490,658円 道路作業業務委託(市内全域 道路パトロール・作業等) 9,482,000円 道路雪氷対策委託(市道名古屋犬山線外30) 5件 1,718,440円 路面清掃作業委託(1・2級 道路路肩 年1回) 1,155,000円 側溝浚渫委託 2件 438,900円 測量調査委託(路面性状調査) 1,705,000円 土のう回収委託(町内等による清掃の土砂等回収処分) 21件 1,347,610円 <p>○道路植樹等管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路植栽帯管理業務委託(市道名古屋犬山線外35) 11,231,000円 道路除草委託 16件 22,581,650円 街路樹剪定委託 9件 8,902,300円 街路樹薬剤散布委託 2件 187,000円 倒木処理・はみ出し枝処理委託 10件 1,888,280円
事業の成果・効果	道路パトロールの実施や簡易な補修、路面清掃、路肩や道路植栽帯の除草、街路樹剪定など維持管理業務を、職員および業務委託により実施し、年間通じて道路を安全に通行利用できるよう維持管理を行った。

II : 個別事業内訳

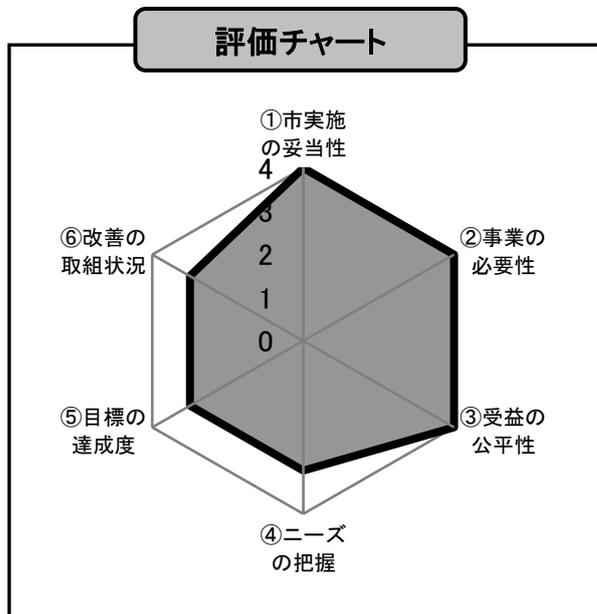
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
道路施設等管理	16,381	0	16,381	100%	3	3	3
道路植樹等管理	44,790	0	44,790	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	61,171	0	61,171	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		56,899	61,171	67,177
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	56,899	61,171	67,177
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	道路施設を適正に管理することは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の道路施設を対象としており、不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書により、利用者の要望(ニーズ)を把握している。
⑤目標の達成度	3	除草実施時期が遅くなり、雑草で通行できないと苦情を受けた路線が一部あったが、概ね予定どおりに年間の維持管理業務を行うことはできた。
⑥改善の取組状況	3	事業の妥当性、維持管理コストの検討等を考慮しながら実施している。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> 除草業務受注者が適切な時期に作業に入れるよう、発注方法の見直しを行った。 経年により老朽化や大径化した街路樹を適正に管理するため、交通安全上支障になると思われる街路樹の抽出を行った。
令和4年度に見直しを実施している事項	道路植栽帯の雑草繁茂により、見通しが悪い交差点等の防草対策方法と対策箇所の抽出を行う。また、交通安全上支障となる街路樹の伐採を進める。
今後見直しを検討する事項	道路植栽帯の雑草繁茂により、見通しが悪い交差点等の防草対策方法と対策箇所の抽出を行う。また、交通安全上支障となる街路樹の伐採を進める。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
道路の草刈りについては、高齢化等で地域の方々による実施が困難となったことなどにより、要望が増加している。	除草の回数を増やすことはコスト的に困難であるため、年1回の草刈りを効果的に実施できるよう、発注方法等の見直し検討をしながら進める。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	284

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	駅前広場維持管理
事業目的	駅前広場施設の適正な維持管理により、利用者の安全を図る。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な清掃業務や定期点検業務により発見された施設の不具合は、迅速に修繕を行う。また、施設の長寿命化を図るため計画的に改修工事を行うなど、駅利用者等が安全かつ快適に利用できるよう適正管理に努める。 <p>●主な事業内容</p> <p>○駅前広場管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費（電気、水道、下水道） 3,380,684円 犬山駅前広場（東西）、楽田駅東広場 犬山駅東西連絡橋維持管理業務委託 1,468,280円 清掃管理、消防設備及び電気保守点検 犬山駅前広場維持管理業務委託 4,202,000円 清掃、除草、樹木剪定、花壇管理 犬山駅昇降機保守点検委託 2,172,720円 エスカレーター2基、エレベーター2基 犬山駅前広場公衆便所清掃委託（東西） 982,080円 楽田駅東広場管理委託 716,000円 公衆便所清掃、広場管理 犬山駅東からくり広場整備工事 4件 4,953,300円 駅前広場維持工事 10件 2,388,980円
事業の成果・効果	ゴミ拾い、清掃など日常管理や、老朽化や故意による施設損傷の補修対応については、職員および業務委託により適宜実施するなど、駅利用者等が安全かつ快適に利用できるよう施設管理することができた。

II : 個別事業内訳

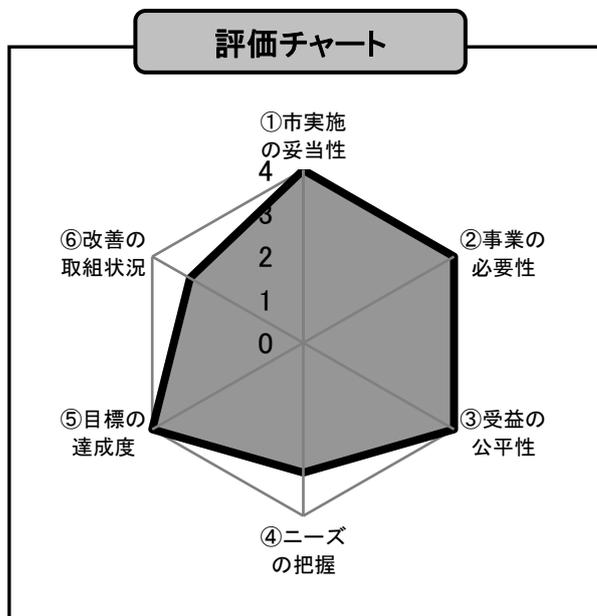
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
駅前広場管理	21,327	1,449	19,878	93%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	21,327	1,449	19,878	93%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		15,211	21,327	20,872
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	651	1,449	2,284
	一般財源	14,560	19,878	18,588
一般財源の割合		96%	93%	89%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	駅前広場は市管理地であるため、市が維持管理を行う。
②事業の必要性	4	駅前広場を安全で快適に利用できるよう維持管理をすることは、管理者として必須な事業である。
③受益の公平性	4	通勤、通学や観光客など、不特定多数の人々が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書等により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	駅利用者等が安全かつ快適に利用できるよう、職員や業務委託による点検及び管理業務により、年間通じて施設管理することができた。
⑥改善の取組状況	3	予防保全的な改修工事を計画的に行うことで、ライフサイクルコストを軽減し、経費の平準化を図っていく。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山駅東西連絡橋の定期点検結果に基づき、改修計画（4ヶ年）を策定した。 ・視覚障害者対応として、駅東階段に音声誘導案内を設置した。 ・犬山駅東からくり広場の指定区画を民間事業者に貸し出しできるように、条例改正および広場整備工事を実施した。
令和4年度に見直しを実施している事項	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山駅東西連絡橋改修計画に基づき、東側階段部外壁タイル・西側エスカレーター一部外装材の改修工事を実施する。 ・犬山駅東からくり広場スペースの民間貸し出しを開始。
今後見直しを検討する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの老朽化が進んできており、劣化した部材の取替等を計画的に進め利用者の安全を確保する。 ・駅東エレベーターについては改修も視野に入れる。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・東西連絡橋の長寿命化 ・空きスペースの利活用検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・東西連絡橋定期の点検結果に基づく、計画的な改修工事により、施設の長寿命化を図っていく。 ・空きスペース等の利活用については、継続して検討していく。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	3	2	河川改良維持費	290

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	河川施設管理
事業目的	準用河川・普通河川・法定外公共用物（水路）・調整池及びその附属施設を健全に維持管理することで、市民生活に支障が無いよう地域排水機能を維持する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 準用河川・普通河川・法定外公共用物（水路）・調整池及びその附属施設を健全に維持管理する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○河川施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気料金（上坂公園調整池外12） 1,040,043円 高根洞工業団地水処理施設管理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 点検・分析等 9,822,355円 汚泥処理 5,371,300円 原水池浚渫 4,180,000円 ポンプ保守点検（上坂公園調整池外8） 1,320,000円 堰等保守点検委託 755,700円 河川排水路維持管理委託（地元要望 草刈・浚渫等） 51件 16,191,340円 河川排水路維持工事（地元要望等） 38件 9,455,600円 高根洞工業団地水処理施設維持修繕工事 2件 1,317,800円 雨水貯留浸透施設設置費補助金 133,500円 <ul style="list-style-type: none"> 雨水タンク、雨水浸透樹、既設浄化槽転用施設 <p>○雨水排水路改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水路改修工事（龍泉院境内地内） 15,126,100円
事業の成果・効果	河川・排水路や調整池等において、施設の運転管理や保守点検、除草や浚渫、補修工事を行うなど、適正に維持管理を行った。

II : 個別事業内訳

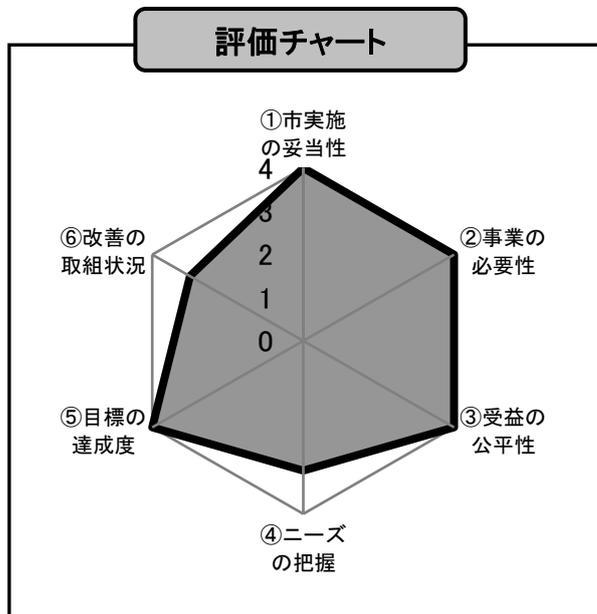
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
河川施設管理	49,800	4,573	45,227	91%	3	3	3
雨水排水路改修	15,126	0	15,126	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	64,926	4,573	60,353	93%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		55,798	64,926	50,140
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	4,610	4,573	4,439
	一般財源	51,188	60,353	45,701
一般財源の割合		92%	93%	91%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	犬山市法定外公共用物の管理に関する条例第2条の規定により、排水路等の管理は市が行う。
②事業の必要性	4	地域排水機能を維持するためには、排水路等の適正な維持管理を継続していく必要があり、事業継続は必須である。
③受益の公平性	4	市内全域の排水路等の事業であるため、不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	水路関係の令和3年度要望実施率は約54%で、年度当初目標値40%を上回ることができた。
⑥改善の取組状況	3	施設の修繕については、保守点検により健全度を把握し、修繕計画を立て予算平準化しながら進める。 地元要望については、緊急性など優先度を考慮し、事業を実施。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	過去からの懸案事項であった瑞泉寺地内の排水路改修工事が完成し、今後の維持管理のため、土地所有者の龍泉院と使用貸借契約を締結した。
令和4年度に見直しを実施している事項	事業の実施時においては、妥当性、経済性等について常に見直しを図っていく。
今後見直しを検討する事項	今後も事業の実施時においては、妥当性、経済性等について常に見直しを図っていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
地元ボランティア活動者の高齢化等による、河川・排水路の日常管理（清掃・除草等）の低下	・張コンクリート・防草シート等による雑草繁茂抑制対策や、ボランティア活動を継続して頂けるよう支援策を検討する。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	6	公園管理費	302

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	都市公園維持管理
事業目的	都市公園等を市民の健康維持、身近に自然とふれあう場や潤いのある空間、子どもたちの遊び場として、安心・安全に使用できるよう適切に維持管理し、市民に提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等の清掃、除草、樹木剪定、公園施設の維持修繕など、安心・安全に使用できるよう施設管理を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等維持管理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 清掃・除草・ゴミ等の処理など日常的な維持管理 23,013,874円 町内会等(77団体)委託： 都市公園・ちびっ子広場等(134施設) 業者委託： 犬山丸の内緑地、石作公園、上坂公園 アメニティ協会委託： 内田防災公園外11施設 ・木曽川犬山緑地維持管理業務委託 1,683,000円 ・犬山ひばりヶ丘公園維持管理業務委託 8,525,000円 ・山の田公園維持管理業務委託 1,078,000円 ・遊具保守点検業務委託 2,398,000円 ・樹木剪定業務委託 18件 9,563,620円 ・除草業務委託 7件 5,540,700円 ・薬剤散布業務委託 5件 396,000円 ・倒木処理・はみ出し枝処理業務委託 9件 731,060円 ・砂場細菌検査業務委託 961,400円 ・花と緑のあるまちづくり事業委託 2,871,000円 <ul style="list-style-type: none"> 公園花壇等への花の苗植付・管理等 ・都市公園等維持管理工事（地元要望等） 78件 17,984,010円 ・公園灯LED化工事（石作公園・上坂公園） 1,639,000円
事業の成果・効果	公園等を安心・安全に使用できるよう、職員、業務委託、地域住民による愛護活動などにより、施設管理を行った。

II : 個別事業内訳

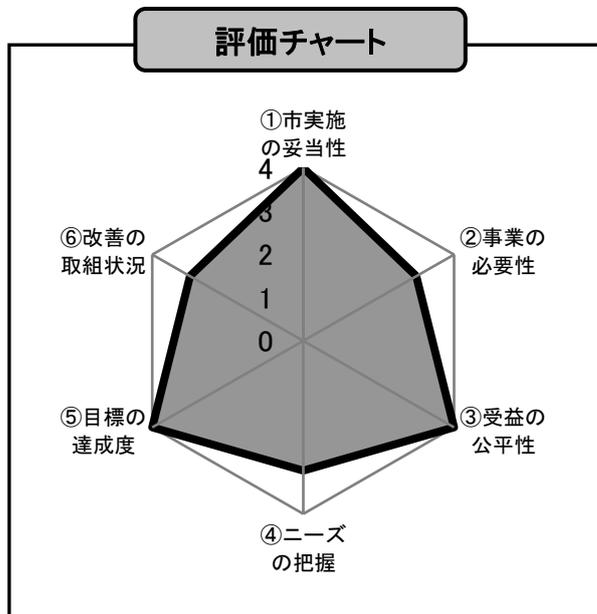
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
都市公園維持管理	84,104	2,648	81,456	97%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	84,104	2,648	81,456	97%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		85,662	84,104	88,891
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	757	2,648	2,538
	一般財源	84,905	81,456	86,353
一般財源の割合		99%	97%	97%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	行政財産であり、市が主体で管理するもの。
②事業の必要性	3	市民の日常生活に直結しているものではあるが、非常時においては、最低限の維持管理とし、要望事業の縮小もやむを得ない。
③受益の公平性	4	不特定多数の市民が利用し恩恵を受ける事業と考えられる。
④ニーズの把握	3	地元からの要望書により、利用者のニーズを把握している。ひばりヶ丘公園については、市民の他に近隣市町からの利用も多く、幅広くニーズを把握し、応えていく必要がある。
⑤目標の達成度	4	令和3年度公園要望に対する実施率は約81%で、年度目標値80%を上回ることができた。
⑥改善の取組状況	3	近年の厳しい財政状況の中、除草・園内清掃等については、内容・箇所数ともに現状維持に努めている。また、遊具等についても、保守点検の結果や市民からの要望等を受け補修・改修工事を行い、事故等の発生を防止している。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> 公園灯LED化計画に基づき、石作公園19基、上坂公園7基の灯具をLEDに交換した。 犬山ひばりヶ丘公園の指定区画の民間貸し出しを開始。
令和4年度に見直しを実施している事項	<ul style="list-style-type: none"> 犬山ひばりヶ丘公園のジャイアントスライダー踊り場のリニューアル。 公園灯LED化計画に基づき、富岡北公園など35基の灯具をLEDに交換。 官民連携による都市公園等の新たな利活用の可能性を探るため、サウンディング型市場調査を行う。
今後見直しを検討する事項	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度を目標に、公園照明灯のLED化を完了する。 都市公園等の魅力向上に向けた官民連携事業の実施検討を進める。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
公園施設の老朽化対策	公園施設の老朽化が進み、植栽管理も厳しい状況であるが、継続的な利用者への安全対策は必要であり、管理内容の優先順位付けなど効率的な管理方法を確立する必要がある。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	287

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	交通安全総点検対策
事業目的	「通学路交通安全プログラム」に基づき、計画的かつ継続的に交通安全対策を実施するため、グリーンベルト及びカラー舗装などを重点的に整備し、子どもたちが安心して通学できる歩行空間の確保を推進していく。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次計画に基づき通学路にカラー舗装、グリーンベルトなどを整備 <p>●主な事業内容</p> <p>通学路安全対策工事 19,621,800円</p> <p>◇「通学路交通安全プログラム」による対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道小松寺線外4 区画線設置 L=343m、グリーンベルト A=115㎡、転落防止柵 L=15m ・市道楽田西164号線 区画線設置 L=178m、グリーンベルト A=107㎡、張コンクリート A=128㎡ ・市道楽田東45号線外2 区画線設置 L=96m、カラー塗装 A=82㎡ ・市道楽田東33号線外1 カラー塗装 A=16㎡ ・市道楽田西141号線外1 区画線設置 L=11m、カラー塗装 A=87㎡ ・市道橋爪31号線外4 区画線設置 L=52m、カラー塗装 A=267㎡ ・市道橋爪38号線外2 区画線設置 L=24m、カラー塗装 A=112㎡ ・市道塔野地90号線 区画線設置 L=255m、グリーンベルト A=73㎡ <p>◇「令和3年度通学路緊急合同点検」による対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道犬山113号線 区画線設置 L=89m ・市道橋爪81号線 区画線設置 L=382m ・市道五郎丸1号線 グリーンベルト A=22㎡ ・市道善師野線 グリーンベルト A=14㎡ ・市道前原1号線 区画線設置 L=11m、カラー塗装 A=20㎡ ・市道五郎丸38号線 カラー塗装 A=1式 ・市道犬山79号線 区画線設置 L=101m ・市道橋爪96号線 区画線設置 L=169m ・市道楽田東1号線 区画線設置 L=209m ・市道富岡荒井線 カラー塗装 A=1式
事業の成果・効果	「通学路交通安全プログラム」による整備計画で、令和3年度に予定していたグリーンベルト、カラー舗装、外側線設置などの整備が完了した。

II : 個別事業内訳

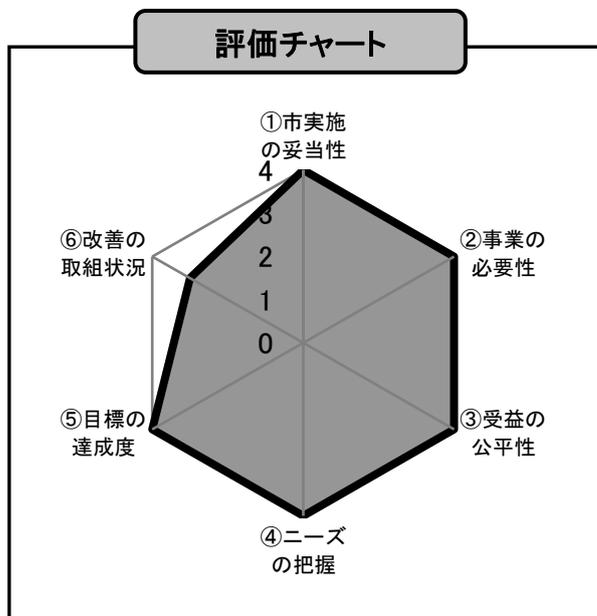
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
交通安全総点検対策	19,622	11,654	7,968	41%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	19,622	11,654	7,968	41%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		29,202	19,622	55,302
財源内訳	国県支出金	9,900	6,754	26,950
	地方債	16,000	4,900	19,800
	その他	0	0	8,552
	一般財源	3,302	7,968	0
一般財源の割合		11%	41%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	交通弱者である未就学児、児童、生徒にとって安心・安全な歩行空間を確保できるよう安全対策を講ずることは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の通学路が対象であり、通学する児童・生徒など市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	4	P T Aからの通学路安全対策要望等により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	「通学路交通安全プログラム」による整備計画で、令和3年度に予定していたグリーンベルト、カラー舗装、外側線設置などの整備が完了した。
⑥改善の取組状況	3	P T Aからの通学路安全対策要望の優先順位を考慮しつつ、事業の緊急性・必要性を判断し、実施している。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	令和3年6月に千葉県八街市（やちまたし）で発生した児童死傷事故を受け、9月に学校関係者・警察・道路管理者等による通学路緊急合同点検を実施し、新たな視点で危険箇所抽出を行った。
令和4年度に見直しを実施している事項	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度通学路緊急合同点検による安全対策を実施する。 「通学路交通安全プログラム」による計画を一部前倒して、整備を推進する。 従来のグリーンベルト・カラー舗装に加えて、狭窄横断歩道など新たな手法も取り入れながら通学路安全対策を進める。
今後見直しを検討する事項	<ul style="list-style-type: none"> 「通学路交通安全プログラム」による実施事業の効果検証および計画の見直し。 通学路安全対策の先進事例を継続的に研究し、効果的な手法を検討しながらを進める。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
グリーンベルト、カラー舗装の維持補修	通学路の安全対策として、グリーンベルトやカラー舗装の要望が増加し整備を進める一方で、経年劣化により再整備が必要な箇所も見受けられるため、新規とともに再塗装を検討する。